

# 市議会だより おおだ

No.63

2021（令和3）年4月22日発行

～火山からの贈り物vol.8～  
はるが来た♪ 浮布の池

- ✿ 3月定例会 …………… 2
- ✿ 一般質問に11人 …………… 8
- ✿ 特別委員会中間報告 …………… 14

賛成多数

可決

「子どもたちの笑顔があふれ、みんなが夢を抱けるまち‘おおだ’」  
の実現に向け、**当初予算決まる**

**(対前年度比4.3%減)**



工事が進む  
道の駅「こいせ仁摩」

**仁摩地区  
道の駅整備事業 9,512万円**

観光や食、伝統芸能といった大田市の魅力の発信拠点として、  
仁摩・石見銀山IC出口正面に、道の駅を整備する



第71回全国植樹祭100日前記念  
県民参加植樹イベント(大田会場)

**全国植樹祭推進事業  
568万円**

5月30日に三瓶山北の原で開催される第71回全国植樹祭の  
PRなど

**R3当初予算  
特徴的な  
取り組み**



完成イメージ図

**新可燃ごみ処理施設  
整備関連事業 20億2,956万円**

施設整備に係る負担金、可燃物中継処理施設の改修、大型塵芥  
車の購入



現在の駅前広場

**大田市駅東側  
まちづくり事業(調査費) 720万円**

今後の駅周辺のまちづくりについて、地権者、関係者等との協  
議を行うとともに、大田市駅前における都市構造の再編を行う  
ための都市再生整備計画を策定する。

**(土地区画整理事業は特別会計において実施  
9,240万円)**

# 3月定例市議会

令和3年3月1日(月)  
～3月19日(金)

令和3年度

一般会計  
当初予算

# 244億円

## 第2次大田市総合計画 施策体系からピックアップ

### ★ 産業づくり〈多様で活力ある「産業」をつくる〉

誇れる大田産品推進事業	672万円	「食」による市内経済の活性化を目指し、アナゴのブランド化や、新商品開発の支援など事業者の売り上げ増加につながる取り組みを行う。
産地創生事業	1,204万円	「石見銀山和牛」の産地拡大に向けた取り組みを集中的に支援する。



アナゴの漁獲量は全国有数

### ★ 豊かな心づくり〈ふるさとを愛する「豊かな心」をつくる〉

日本遺産「石見の火山が伝える悠久の歴史」推進事業	1,414万円	日本遺産観光コーディネーターの養成や情報発信プロモーション等にかかる費用を負担し、誘客促進や認知度向上を図る。
ICT等による石見銀山多言語解説整備事業	1,500万円	多言語化とICTを活用して、わかる世界遺産となるよう、整備を進める。



わたしの町の看護師さん事業の一例(啓発活動)

### ★ 暮らしづくり〈だれもが住みよい「暮らし」をつくる〉

地域医療確保対策事業	1,548万円	看護の力を活用した地域医療への支援、次世代を担う医療スタッフの確保、休日応急診療や医療に関する市民啓発など、地域医療の確保に向けた各種施策に取り組む。
------------	---------	---

### ★ 都市基盤づくり〈くらしや交流を支える「都市基盤」をつくる〉

防災安全交付金事業	1億7,404万円	市道6路線の法面对策及び冠水対策を実施する。
建築物耐震改修促進事業	1,053万円	建築物の耐震改修を促進するため、木造住宅の耐震診断費、耐震改修費等や避難路に面するブロック塀の除去費等に対して補助を行う。



法面对策の事例

## 人事議案

全会一致、同意

▼副市長の選任につき同意を求めらるること

清水克典副市長の任期が令和3年3月31日をもって満了するため、新たに船木三紀夫氏（五十猛町）を選任するようについて、同意を求めたものです。



ふなき みきお  
船木三紀夫  
副市長

全会一致、同意

▼教育委員会教育長の任命につき同意を求めらるること

船木三紀夫教育長の任期が、令和3年3月31日をもって満了するため、新たに武田祐子氏（川合町）を任命することについて同意を求めたものです。



たけだ ゆうこ  
武田祐子  
教育長

異議なく同意

▼人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めらるること

現委員である恒松幸子氏（長久町）、二上里子氏（川合町）及び梅田明江氏（温泉津町）の任期が令和3年6月30日をもって満了のため、同氏を再任することについて、意見を求めたものです。



## 指定管理者指定議案

全会一致、原案可決

管理を行わせる公の施設の名称

「大田市民公園」  
「大田運動公園」

指定管理者となる団体の名称

公益財団法人 大田市体育・公園・文化事業団

指定する期間

令和4年4月1日から令和9年3月31日までの5年間

## 委員会提出議案

賛成多数、原案可決

▼大田市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について

人口減少をはじめとするこの間の社会情勢の変化、広範な市域における地域課題の把握など様々な要因から、現行議員定数を2人減じ、定数を「18人」とするもの。

## 議員提出議案

全会一致、原案可決

▼新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者への支援拡充を求める意見書の提出について

大田市議会は、国に対し、感染症拡大防止に協力し事業継続に努力されている事業者を守り、ひいては国民の暮らしを守るため、緊急事態宣言対象地域内外を問わず、地域経済対策及び雇用の維持について特段の措置を早急に講じるよう求める意見書を提出した。

## 皆さんからの請願・陳情

不採択

▼最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書提出方について

（陳情者）島根県労働組合総連合  
議長 村上一

## 1月臨時市議会で審議された内容

全会一致・原案可決

▼令和2年度一般会計補正予算（第11号）

1億7638万円

予防接種法の臨時接種に関する

特例により、新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種の大田市による実施に必要な経費を計上。



▲新型コロナウイルスワクチン接種対策室（市役所 1F）

# 令和3年度一般会計予算討論～要旨

大田市における令和3年度の主要な事業として、まずは「大田市駅東側まちづくり事業」や「大田市駅前周辺東側土地区画整理事業」への本格的な着手、5月30日には第71回全国植樹祭の開催、そして「道の駅ごいせ仁摩」の開業や、来年4月から稼働する新可燃ごみ処理施設整備事業等が待ち構えている。しかし、この大田市では、3年前の島根県西部地震をはじめ豪雨災害や、昨年来社会不安をもたらしている新型コロナウイルス等、度重なる災害による財政のひっ迫が明らかになっているだけに、今回は基金の取り崩しは最小限に抑えつつ、事業

の手法や内容の見直しによる費用の縮減、補助金の確保等への工夫を積み重ねて、予算編成がなされたと考えている。コロナ禍の行く先が見通せない現状だけに、緊張感を伴った予算編成作業だったのではないかと。楢野市長より、「安心して住み続けられる大田市は自分が先頭に立って守っていく」との力強い覚悟を先日いただき、各常任委員会でそれぞれ長時間にわたって議論を尽くしたこの令和3年度の一般会計予算について、市長のご覚悟も踏まえ、賛成するものである。



和田 浩司 議員

賛成



かめたに ゆうこ 議員

反対

日本経済はいま、消費税増税に新型コロナウイルス感染症の拡大が加わって、深刻な不況に陥っている。さらなるコロナ対策の強化、飲食店をはじめ事業者への支援強化が必要である。次の予算措置・対応を求める。

## 社会保障について

介護保険では、保険料や利用料の値上がりも続き、必要なサービスが受けられなくなるなど、制度から排除される懸念がある。新年度からは介護予防事業が一般会計へ移行するが、今後の事業内容の動向を注視する必要がある。

## 新型コロナウイルス感染拡大防止について

医療機関や福祉施設に対する公費でのPCRなどの検査を実施するなど、新型コロナウイルスの感染拡大防止と、市民の命を守る施策を図るべきである。

## 産業振興について

市内の中小業者は、消費税増税とコロナでさらなるダメージを受けている。経済をたて直す決め手は、消費税5%への緊急減税の実現と、事業者などへの直接支援である。

## 農業について

価格保証と所得保障を行い、持続可能な農業経営を実現するべきではないか。

## 保育について

新年度は新しく民間の認定こども園が開園する予定になっているが、行政が責任を持って公立の保育園を運営することが、地域を守ることにつながると考える。

## マイナンバー制度について

個人情報情報を漏れさせない完璧なシステムはない。マイナンバーの推進は今からでも止めるべきである。

◇1月臨時会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛 成	反 対 等	月 森 和 弘	亀 谷 優 子	根 宜 和 之	和 田 浩 司	三 谷 健	森 山 幸 太	胡 摩 田 弘 孝	森 山 明 弘	小 川 和 也	石 田 洋 治	小 林 太	河 村 賢 治	林 茂 樹	大 西 修	塩 谷 裕 志	石 橋 秀 利	清 水 勝	松 村 信 之
<b>■市長提出議案</b>																						
議案第347号 令和2年度大田市一般会計補正予算(第11号)		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※定数20名(現員18名)、うち議長(松村信之)は採決に加わりません  
 ※○は賛成、●は反対等(反対、継続審査、態度保留等々)

◇3月定例会提出議案等賛否一覧表

議案名	議員名等	議決結果	賛 成	反 対 等	月 森 和 弘	亀 谷 優 子	根 宜 和 之	和 田 浩 司	三 谷 健	森 山 幸 太	胡 摩 田 弘 孝	森 山 明 弘	小 川 和 也	石 田 洋 治	小 林 太	河 村 賢 治	林 茂 樹	大 西 修	塩 谷 裕 志	石 橋 秀 利	清 水 勝	松 村 信 之	
<b>■市長提出議案</b>																							
議案第348号 令和3年度大田市一般会計予算		可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第349号 令和3年度大田市国民健康保険事業特別会計予算		可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第350号 令和3年度大田市国民健康保険診療所事業特別会計予算		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第351号 令和3年度大田市後期高齢者医療事業特別会計予算		可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第352号 令和3年度大田市介護保険事業特別会計予算		可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第353号 令和3年度大田市生活排水処理事業特別会計予算		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第354号 令和3年度大田市簡易給水施設事業特別会計予算		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第355号 令和3年度大田市農業集落排水事業特別会計予算		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第356号 令和3年度大田市大田市駅周辺土地区画整理事業特別会計予算		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第357号 令和3年度大田市水道事業会計予算		可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第358号 令和3年度大田市下水道事業会計予算		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第359号 令和3年度大田市病院事業会計予算		可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第360号 令和2年度大田市一般会計補正予算(第12号)		可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第361号 令和2年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第362号 令和2年度大田市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第3号)		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第363号 令和2年度大田市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第364号 令和2年度大田市介護保険事業特別会計補正予算(第4号)		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第365号 令和2年度大田市生活排水処理事業特別会計補正予算(第2号)		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第366号 令和2年度大田市簡易給水施設事業特別会計補正予算(第2号)		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第367号 令和2年度大田市水道事業会計補正予算(第2号)		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第368号 令和2年度大田市下水道事業会計補正予算(第2号)		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第369号 令和2年度大田市病院事業会計補正予算(第6号)		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第370号 大田市公共施設総合管理基金条例制定について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第371号 大田市生活バス運行に関する条例の一部を改正する条例制定について		可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第372号 大田市公告式条例の一部を改正する条例制定について		可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議案名	議員名等	議決結果	賛成	反対	月森和弘	亀谷優子	根和之	和田浩司	三谷健	森山幸太	胡摩田弘孝	森山明弘	小川和也	石田洋治	小林太	河村賢治	林茂樹	大西修	塩谷裕志	石橋秀利	清水勝	松村信之
<b>■市長提出議案</b>																						
議案第373号 大田市職員のサービスの宣誓に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第374号 大田市職員の勤務時間に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第375号 大田市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第376号 大田市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第377号 大田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第378号 大田市指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第379号 大田市介護保険条例の一部を改正する条例制定について	可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第380号 大田市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第381号 大田市手数料条例の一部を改正する条例制定について	可決	15:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
議案第382号 大田市消防本部及び消防署の設置に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第383号 大田市通学バスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第384号 大田市仁万コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例制定について	可決	14:2	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	除	○	○
議案第385号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第386号 新生「大田市」まちづくり推進計画の変更について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第387号 大田市過疎地域自立促進計画の変更について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第388号 令和2年度道路改良工事栄町大沢線（橋梁上部）請負変更契約の締結について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第389号 大田市民公園及び大田運動公園の指定管理者の指定について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第390号 市道路線の認定及び変更について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第391号 権利の放棄について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第392号 副市長の選任につき同意を求めることについて	同意	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第393号 固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	同意	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第394号 教育委員会教育長の任命につき同意を求めることについて	同意	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第395号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第396号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第397号 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	異議なし	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>■委員会提出議案・議員提出議案</b>																						
議案第398号 大田市議会議員定数条例の一部を改正する条例制定について	可決	12:5	○	●	○	○	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第399号 大田市議会会議規則の一部を改正する規則制定について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意第10号 新型コロナウイルス感染症で影響を受ける事業者への支援拡充を求める意見書の提出について	可決	17:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>■請願・陳情</b>																						
陳情第5号 最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書提出方について	不採択	3:14	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○

※定数20名（現員18名）、うち議長（松村信之）は採決に加わりません  
 ※○は賛成、●は反対等（反対、継続審査、態度保留等々） ※除は除斥

# いっぱん質問

市政に対する一般質問は、3月4日、5日に行われ、11人の議員が執行部の考えをたずねました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は、紙面の都合上、広報広聴委員会を選定し、1人1議題としています。なお、その他の質問項目があった場合は、質問項目のみを掲載しています。(内容は、ホームページ(<https://www.city.ohda.lg.jp/>)で閲覧できます。)



▲仁摩サンドミュージアム開館30周年記念セミナー(令和3年3月3日) 仁摩保育園年長児22名による和太鼓が披露されました。

## 本年秋に行われる 市長選挙について、 楫野市長の思いは

もっと元気で、魅力的で、  
幸せを感じる大田市を  
市民と共につくり上げる

かわむら けんじ 議員  
河村 賢治

るのであれば出馬させていただきたい  
と思っています。

現在、新型コロナウイルス感染症の  
終息が見通せず、市民の皆様には不安  
な日々をお過ごしのことと思うが、こ  
れからの大田市全体のまちづくりにつ  
いて、市民の皆様、市議会議員の皆様、  
市役所職員と共に考え、話し合ってい  
かなければならない時だと思ってい  
る。

再び機会をお与えいただければ、  
もっと元気で、もっと魅力的で、もっと  
幸せを感じることでできる大田市を  
全ての市民の方々と共につくり上げる  
ため、全力を尽くしたい。



**質問** 平成29年10月の大田市長  
選挙において、無投票当選  
されて以来、大きな思いを持って3  
年余りの市政運営を行ってこられ  
た。  
就任後、平成30年4月9日早朝  
に発生した島根県西部地震では、初  
期対応や被災者への支援について  
頑張っていたいただいた事は、記憶に新  
しく、市民の励みになった。  
現在、コロナ禍での市政ではある  
が、私たちが楫野市長に期待する  
事案も多くある。市長選挙への思い  
を伺う。

### 答弁

今年の10月に予定されてお  
ります市長選挙には、これまで  
私を支えていただいた多くの方々をは  
じめ、市民の皆様の御支持がいただ



▲答弁する楫野市長



## コロナワクチン接種の 大田市の対応は

市民の不安を取り除く  
対応を目指す

いしだ ようじ  
石田 洋治 議員



券には予診票、接種場所など内容を記載したチラシを同封する。市の広報誌や、ぎんアしなどで広報する。  
③ワクチン接種記録システムとは接種情報を全国及び各自治体で共有するものである。

このシステムを活用するには、大田市の「健康情報システム」の改修が必要なため、現在システム管理事業者と調整を行っている。

④接種検討会を開催し、医師会、市立病院、保健所と検討を始めたところで、医師会に集団接種会場への医師、看護師の派遣をお願いしている。

⑤接種の目的、効果、有効性、副反応について厚労省のチラシを活用し、なるべく早く広報する。また、市に設置するコールセンターでは、主に一般相談や、接種予約について行う。安全性や、副反応など医学的知見が必要な相談は、県が専門的医療機関と連携して担う。

石田議員その他の質問項目  
放課後児童クラブのICT化

**質問** 新型コロナウイルスのワクチン接種が始まった。4月からは、65歳以上の高齢者から随時接種が進められる予定である。市民に対し正確な情報を迅速に届けることが重要と考えるが、以下5点について伺う。  
①大田市の体制と今後の接種計画  
②予診票、クーポン券の発送、広報  
③ワクチン接種記録システム  
④医師、看護師の確保、医師会の協力  
⑤副反応を懸念する市民への安全性、有効性の情報提供

**答弁** ①ワクチン接種については、基礎疾患のある方は原則かかりつけ医療機関で、それ以外は集団接種の方向で協議している。

②65歳以上の高齢者に送付する接種

## 今後10年を見据えた 大田市の姿とは

市民と向き合い、考え、  
大田市の活力維持に努める

こばやし ひとし  
小林 太 議員



自由に使って一般財源は、人口減少が進むにつれて年々減少する。

今後の当市の財政運営は、何かを優先すれば、何かを我慢していただかなくてはならない、非常に厳しい局面である。様々な検討を始める段階から、市民のご意見を伺い、議論させていただき、一つ一つ合意を得ながら、持続可能な財政運営に結びつけたい。ご理解とご協力をお願いしたい。

**質問** 梶野市長の「施政方針」では「今後10年を見据えた市政運営」として市庁舎や市民会館など老朽化した施設の整備、耐震化などを検討するとある。そこで「グランドデザイン(全体構想)」を描き、可視化し、市民との合意に至る手法とする事はいかがか。また人口減少とコロナ禍の中、当市を取り巻く財政状況は厳しい。市長の財政運営の考え方について伺う。

**答弁** 「市民と共有するグランドデザイン」は、まちづくりに必要な手法の一つであると認識している。すべての市民が「大田市の将来像」を自分のこととして考え、アイデアを出すような仕組みづくりを検討する。

市税や地方交付税など市の裁量で



▲大田市内

## 第8期介護保険事業 ～現場を支え、利用者や 家族を守る施策を～

人材確保は喫緊の課題。  
継続して取り組む

おおにし 大西  
おさむ 修 議員



22名に助成し、内2名がケアマネジャー、7名が介護福祉士の資格を取得されている。

②現在市内20地区で実施している。体調チェックや0854-8体操のほか、レクリエーション活動や健康講座など、利用者の趣味や関心に応じ実施している。令和5年度までに新たに5地区で事業開始を目指しており、今後全地区での事業実施に向けた支援を行う。



▲通いの場の様子

①介護人材確保の成果  
②高齢者通いの場づくりの実施状況と今後の全地域への計画  
③低所得者対策における大田市独自の軽減制度の利用状況

### 答弁

①市内介護サービス事業所や助成制度等を紹介するパンフレットを作成し、U-ターナーフェアや成人式で配布した。また、資格を取得する際の受験料の助成実績として、平成30年度は17名に助成し、内6名が介護福祉士の資格を取得。令和元年度は

大西議員その他の質問項目  
・教職員の勤務環境改善

③認知症対応型共同生活介護事業所等の利用者負担額の軽減制度を実施し、食費や居住費の軽減額の一部を市が補助している。令和元年度の実績は、グループホームの該当者が5名、小規模多機能型居宅介護が1名であった。低所得者対策の一環として、今後も継続して実施したい。

## 放課後児童クラブの さらなる充実を

地域の実情をふまえ  
支援していく

ねぎ 根直  
かずゆき 和之 議員



方々が主体となってその地域に合った運営をしていただくため、民設民営での設置を推進している。未設置の7校区については、相談があれば、地域に出かけて支援してまいりたい。

②クラブの役割や位置づけ、活動内容について学校や関係機関と情報の共有に努め、支援を行っていく。

③現在放課後児童健全育成事業の中で、生活保護受給世帯や就学援助受給世帯への利用料の減免を実施しており、これ以上の利用料減額については、現段階では難しいものと考えている。

④認定資格研修は県が実施する。人材確保は必要と認識しており、情報が入り次第速やかに参加を促していく。



▲児童クラブ防災教室

根直議員その他の質問項目  
・救急救命対応について

①児童クラブ設置運営状況の所見と、未設置の小学校区についての方向性を伺う。  
②児童クラブの認知度向上、信頼関係の構築に行政支援があると助かるのではないか。  
③児童クラブ利用料を減額し、保護者の経済的負担軽減をして欲しい。  
④放課後児童クラブの人材確保支援について伺う。

### 答弁

①9つの小学校区に12か所のクラブがあり、運営委員会、社会福祉法人等、民間経営により事業が営まれている。市としては、地域の

## 有害鳥獣駆除をめぐる課題 ～「有害鳥獣駆除専門員 養成機関」の開設を～

地域一体で取り組む集落を支援し、  
人材確保・育成に努める

もりやま こうた 議員  
森山 幸太



者がおられると、より機動的な被害対策が行われる。また、農業者自ら被害対策を行う動きがあることから、新たな取得につながっていると思われる。

有害鳥獣駆除専門員養成機関を設置する考えはないが、鳥獣対策を実施する上で狩猟免許取得者など、人材確保は重要な課題と認識をしている。引き続き農業者と大田市鳥獣被害対策実施隊が地域一体で被害防止対策に取り組むとともに、人材確保育成に努める。

### 質問

有害鳥獣による被害は、減る傾向になく、農業者は深刻な被害を受け、離農の原因になっている。有害鳥獣駆除事業を進める上での課題は、人材・担い手の確保・育成である。狩猟免許取得及び、その後の育成のための、「大田市有害鳥獣駆除専門員養成機関」を開設するべきであると考えるが、所見を伺う。

### 答弁

全国的に狩猟免許取得者の高齢化や減少が課題となっている中、大田市の新規狩猟免許取得者は直近3年間では、平成30年度15名、令和元年度15名、令和2年度21名と、増加傾向である。これは、集落ぐるみで被害対策を実施している集落において、集落内の構成員に狩猟免許取得



▲被害にあった防護柵

## 事業者等に支援制度の 拡充を

事業者の皆様の声を聞きながら、  
迅速かつ的確に対応していくことが  
必要と考えている。

しみず まさる 議員  
清水 勝



は、これまで国の臨時交付金等を活用する中で、大田市版の持続化給付金をはじめ感染症対策に係る補助や飲食店への支援、PCR検査の際の補助など様々な支援策を講じている。さらに、第3次補正予算の新たな臨時交付金を活用し、事業継続の下支え、雇用の維持等につなげていく。また、支援制度の状況については、緊急小口資金の特例貸付は174人（決定額3400万円）、市独自の臨時特別給付金が161人（総額805万円）、総合支援資金の特例貸付で36人（総額2423万円）他、介護保険料の現在に至るまでの減免申請が18名（130万8000円）あった。

### 質問

コロナ感染症特別法にまん延防止重点措置が新設され、知事に罰則つき命令権が与えられ、過料も科すようになった。公平性等に留意し、人権・私権の制限は必要最小限と規定されていることから、時短営業者には適正な補償と、生活実態に応じた支援制度の拡充が求められる。所見を伺う。

また、コロナ感染症第3波のもとで、倒産・廃業・解雇・雇い止めにより、生活困窮者が増大している。市内の現状と支援策、周知徹底方を伺う。

### 答弁

感染症の少ない地域においても経済的に大きな影響を与えている状況があり、当市において



## 定住就農人口の確保対策は

関係団体に協力していただき  
就農対策をしっかりと行う

こま だひろたか  
胡摩田弘孝 議員



は、県普及部、J A、農業振興公社、市農林水産課などによる支援の協議を行っている。就農希望者の相談には、ふるさと島根定住財団の方も同席いただき、ワンストップ対応をしている。

**質問** 人口減少、過疎化、少子高齢化など様々な課題の中、定住就農人口の確保を当市としても最優先課題として取り組む必要があると考え、次の3点について伺う。

- ①これまでの支援策や実績
- ②県や関係機関との連携
- ③今後の方策

**答弁** ①産業体験実践者は1名。新規就農者の経営支援の交付金は5名。半農半X支援事業実践者は1名。認定農業者に対する経営基盤の強化を支援する県補助事業の活用者は4名。認定新規就農者は予定者を含め4名となっており、平成28年から5年間は、10名となる。

②大田市農業担い手支援センターで

③新規就農者確保に向け、「ビデオを作成、YouTubeへのアップや、都会地で行う農業フェアにも活用する。また、就農時のイメージがよくわかる「大田市版就農パッケージ」を活用するとともに、県立農林大学校の短期養成コースの利用も誘導していく。



井田で和牛の繁殖に取り組む龍造寺さん

胡摩田議員その他の質問項目

・鳥獣被害対策について

## 長引くコロナ禍 介護事業所等の現状は

事業所等と協議  
体制強化・充実で対応

みなに たけし  
三谷 健 議員



親族との面会については市内でも制限しており、ガラス越しやオンライン面会などで対応されている。

施設間の協力体制は、入所系サービスでは、県が中心となり「介護職員派遣制度」を創設して協力体制を整えており、通所系サービスでは、「大田市介護サービス事業者協議会」において、有事の際の職員派遣など協力体制構築について協議していく。

**質問** コロナ禍における介護従事者に対する支援や、事業所の取り組みの現状において、主に介護サービス事業所の感染拡大防止のための防護服や消毒薬などの備蓄状況、入所者と親族などの面会状況や、通所施設への応援職員の派遣体制の構築について伺う。

**答弁**

昨年8月に「事業所アンケート」を実施した時点では、マスクやゴム手袋が不足していたが、半年経過した現在では、県の補助制度活用等で概ね確保している状況である。今後、不足が生じた場合は、県が備蓄している物品を優先的に配布される予定である。

令和3年度からの介護報酬引き上げに伴い、ほぼ全ての介護サービスで基本報酬が引き上げられ、併せてコロナの影響による利用者減による基本報酬の上乗せも盛り込まれている。また、入所者の食事の負担額は、本年8月より増額されるなど、介護報酬全般の引き上げに伴い、1〜3割程度利用者の負担も引き上げられる。

三谷議員その他の質問項目

・介護人材の確保、育成及び業務の効率化と昨年8月に実施の介護保険サービス事業所等アンケート調査について

## 屋根の修繕費用の 半額補助を

個々の実情を把握し  
補助制度の必要性を検討する

もりやま あきひろ  
森山 明弘 議員



助制度の必要性なども検討していき  
たい。  
なお、島根県社会福祉協議会が行っ  
ている低所得世帯で災害を受けた方  
に対する生活福祉資金の貸付制度も  
あるため、これについても再度案内を  
していく。

**質問** 1軒の被災家屋のブルー  
シートの張替えが終わる  
と、1年から1年半後に、次の張替  
えのニーズがボランティアセンター  
に入ってくる。そのような被災家屋  
が40棟近くあるため、エンドレスの  
活動になる。これを解消するため、  
被災家屋に対する廉価な修繕方法  
を検討し、費用の半額を補助する  
制度を創設することに対し、所見を  
伺う。

**答弁** 現在、高齢者や経済的な理  
由で補修が困難な世帯など、  
様々な理由でブルーシートによる補  
修が続いている。市としては、改めて  
個々の実情やニーズを把握し、今後も  
安心して暮らし続けることができる  
生活環境を整えるため、修繕方法や補



▲ボランティアセンターによるブルーシートの張替え作業

## 医療機関・高齢者施設での 全職員のPCR検査を

細心の感染予防対策と  
民間検査の経費助成で

かめたに ゆうこ  
亀谷 優子 議員



医療機関や高齢者施設の職員等への  
社会的検査の実施は考えていない。  
併せて、医療や施設等の職員の感染  
は、社会生活に大きな影響が生じると  
認識しているが、マスク着用の徹底や  
立ち入り制限など感染防止に細心の  
注意を払っており、無症状を含めた全  
職員への公費による一律の検査実施は  
考えていない。

**質問** 今後、新型コロナウイルス  
が接種される中、PCR検  
査を並行して実施することは感染  
拡大防止に有効であり、無症状の感  
染者をいち早く発見することが重  
要であると考ええる。  
クラスターが発生し易い医療  
機関や高齢者施設などでは、感染  
者が判明していない場合にも行う  
PCR検査「社会的検査」が必要と  
考える。併せて、こうした検査を公  
費で行うべきと考えるが、所見を伺  
う。

**答弁** この度のコロナ禍において、  
感染拡大防止策は極めて重要  
と認識しているが、PCR検査は、検  
査時点の感染有無を調べるものであ  
り、直接の感染拡大防止策ではなく、



また、本年1月  
より、市内事業者  
を対象に、事業活  
動の継続を目的に  
「大田市PCR検  
査費用補助金」を  
創設し従業員等が  
民間検査機関において掛かる経費の  
助成（対象経費の1/2、1事業所あ  
たり上限30万円など）をしており、有  
効な活用と共に、リスク管理を図って  
いきたいと思います。

### 亀谷議員その他の質問項目

・コロナ禍における文化活動の推  
進

**行財政改革  
特別委員長 中間報告**



石田 洋治 委員長

1月12日、2月9日に開催。

**第4次行財政改革推進大綱及び実施計画の改定について**

**問** 行政のデジタル化を推進するためには職員研修が重要と考えるが、研修体制についてどのように考えていくのか。

**答** デジタル化の研修は、今後も実施していく。新たにシステムを導入する部署については、委託業者と連携した研修が必要と考えている。

**問** デジタル化による情報漏洩について対策はどうか。

**答** 住民基本台帳など外部に漏れてはいけない情報と、積極的に公開していく情報は、システムをしっかりと切り分け、外部からの不正アクセスにより個人情報等が漏洩しないよう運用を行っている。

**問** 市役所の窓口で現金とキャッシュ

シユレズ両方の対応をした場合、人員を増やす必要があるのではないかと。  
**答** 窓口職員の増員は想定していない。手数料はかかるものの、感染予防対策にもつながり、省力化、働き方改革にもつながると認識している。

**第3回特別委員会における委員意見の検討状況**

**問** まちづくりセンターについて、合併後10年経過し、面積、人口規模に合った施設のあり方について検討すべき時期にきているのではないかと。

**答** 施設の老朽化や、人口減少等の要因もあり、センター施設を将来的にどのようにバランスよく配置していくかが課題であると認識している。

**時間外勤務の状況と縮減の取り組み**

**問** 時間外勤務で、突出して多いのは、子育て支援課と観光振興課であるが、観光振興課が増えている状況をどのように評価しているのか。

**答** 観光誘客の促進に努めるための対応が増えたと考えている。また、さんべ荘の改修や備品整備等の事務の影響も大きかったと考える。

**問** 時間外が多い部署については、上司が部下の意見をよく聞き、フォローする体制を作ることが組織として大切と考えるがどうか。

**答** 日々の信頼関係や、コミュニケーションが非常に大事である。課単位で朝礼をはじめとした意見交換の場をもって解決していこうと考えている。

**公共施設適正化計画の推進についての取り組み状況**

**問** おおだふれあい会館について、既存施設への移転か、新築かの方針が出ていない。耐震性がなく、施設の老朽化が進む中、スピード感をもって対応すべきではないかと。

**答** 補助事業等の活用による新築・建て替えも選択肢の一つであるが、公共施設適正化の観点から、他の施設を含め複合的に考えていく必要がある。

**おおだふれあい会館、大田市民会館、大田市民センター、サンレディー大田の4施設について視察**

**問** おおだふれあい会館をサンレディー大田に移転した場合、部屋数が足りなくなり、現在のようには利用できなくなるのではないかと。

**答** サンレディー大田の利用者は現在55団体1300人の利用会員があり、全てを今までどおりとすることは困難である。

**問** サンレディー大田の方針決定に相当の時間がかかるようであれば、おおだふれあい会館は、耐震性の問題から早く新築したほうがいいのか。

はないかと。  
**答** 新築の場合は、国県の補助金が活用できるが、サンレディー大田に引越した場合も既存施設の有効利用などの効果があるので、議論を進めている。

**問** 老人福祉センター、地域包括支援センター、大田市社会福祉協議会について、一つにまとめることはできないのか。

**答** 地域包括支援センターと社会福祉協議会の業務は関連性が高く、連携は不可欠である。県内では、地域包括支援センターを地区社協、社会福祉協議会に業務委託している自治体が多くあるので、まとめる方法もあると考える。

**意見**

・大田市民会館は、昭和38年に建築され、平成24年に耐震化されているが、どこかで建て替えを検討してほしい。



▲おおだふれあい会館視察の様子(2月9日)

**議会改革  
特別委員長 中間報告**



かわむら けんじ 委員長  
河村 賢治

1月13日、1月29日、2月17日に開催。

引き続き議員定数のあり方について検討した。2月17日には議員全員出席のもと議員説明会を開催し、これまでの特別委員会での審査経過について説明を行った上で、特別委員会の委員以外の議員からも議員定数に対する様々な意見を聴取した。

**議員説明会での主な意見**

- ・ 市民アンケートでは定数20人が適当との回答が34%であった。
- ・ 大田市の総面積は435km<sup>2</sup>であり、中山間地域での代弁者がいなくなつては困る。二元代表制が後退することのないように、定数をあまり削減しないほうが良い。1人減の19人が妥当である。
- ・ 現在議員18人で議会活動を行つており、引き続き3つの常任委員会

運営したほうが良い。  
・ 議員定数は人口2,000人に1人の議員が良い。定数としては16人となるが、常任委員会が3委員会あるので複数の常任委員会に所属するようにし、委員数6を確保すればよいのではないか。



▲それぞれの意見を交わした議員説明会

**議員説明会での意見を踏まえ開催された特別委員会での主な意見**

- ・ 定数20人は決して多くないと思う。定数を削減すると市民の声が多分に反映できない。
- ・ 無投票の結果を謙虚に受け止めるべきである。

・ 人口比、面積比だけでなく、議会の機能を果たせる人数とすべきである。  
・ 将来的にはさらに定数を減らさざるを得ない時期も来ると思うが、一気に大幅な削減は好ましくない。



▲特別委員会で議論を重ねる委員

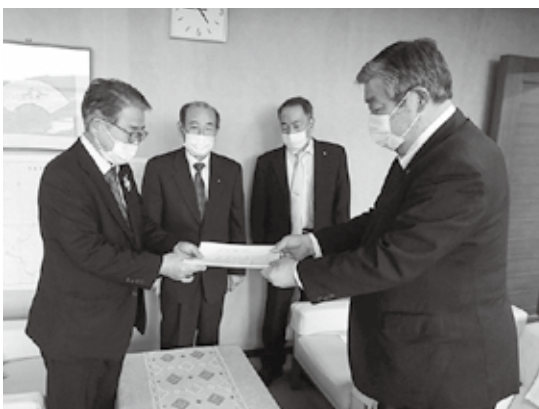
**特別委員会としての結論**

市内17団体からの意見聴取、また、市民アンケートの回答並びに各議員からの意見をもとに本委員会において慎重に審議した結果、最終的には20人と18人に意見が集約され、7対1の賛成多数で定数18人という結論に至った。

議員定数18人を本委員会の結論として報告する。今後は、子ども議会の開催などについても検討を進めていく。

**定数18人を妥当とする理由**

- ・ 現状議員数18で議会を運営しており、18人より多くの定数は、人口減



▲3月1日議長宛、答申書が提出されました。

少や大田市政の状況を鑑みて市民の理解を得ることは困難である。  
・ 議会運営上、常任委員会は3委員会であり、6人ずつが妥当である。18人より少なくなると常任委員会の見直しが必要になる。  
・ 議会の役割や使命、地域ごとの人口分布からも、少数意見の切り捨てにならないように地域に配慮した定数削減とすべきである。  
・ 人口減少を考慮することについては、2,000人に1人の議員が妥当との意見も一つの考え方であるが、委員会としては定数20人とした平成26年から、次回市議会選挙が行われる令和4年までの8年間で約10%の人口減少が推計されることから、議員定数も同様に10%の削減を行うのが妥当である。



## しぎがい 掲示板

議員定数が18人に決まりました。

令和2年6月定例会市議会にて議会改革特別委員会が設置されて以来、議論が重ねられてきた議員定数。大田市の人口減少や近隣市議会の状況を考慮、さらに、各団体からの意見聴取、市民アンケート、各議員からの意見をふまえ、特別委員会の結論は18人とし、議長へ答申。令和3年3月議会へ提案され、賛成多数で可決されました。次の一般選挙から適用されます。

### 傍聴案内

市議会では、新型コロナウイルス感染症対策をして運営しています。3月議会より議員の座席の間隔をあげ、さらなる対策の強化をしました。傍聴席につきましても間隔をあげてお座りいただくよう、ご協力をいただいています。(現在傍聴席は34席となっています。)団体での傍聴は事前に議会事務局 (TEL83-8137) までご連絡ください。

### 今月の表紙

表紙写真は、大田市観光フォトコンテスト

【みんなの一撮部門(審査員特別賞)】  
k.selevledさんの『春うらら』/  
浮布池(三瓶町池田)です。

このほか、入賞作品は市公式ホームページでご覧いただけます。

2/10

## 島根県市議会議長会 春季定期総会(正副議長)



3/25

## 高田・大田道路建設促進 期成同盟会設立総会(議長)



3/30

## 西部消防署庁舎 竣工式(議長ほか)



## 編集後記

2月13日、最大震度6強の福島県沖地震が起きました。気象庁によると、東日本大震災を起こした「東北地方太平洋沖地震」の「余震」だそうです。震災から10年、改めて自然が私たちに警告しているように思います。

3年前、大田市にも地震が襲っています。これは、地球温暖化による災害であり、地殻および気象変動による災害が頻発する「大災害の時代」に生きていることを、私たちは、肝に銘じる必要があります。いまや、人間の命と「ふたつの生活」が何よりも大切であると誰もが納得する時代だといえます。くらし第一に活かす新しい政治・経済のあり方を具体化する段階にきているといえます。

(大西 おさむ)

### 広報広聴委員会

委員長 小月川 和弘  
副委員長 塩谷 裕和  
委員 大田 西修  
委員 河村 賢治  
委員 石田 洋治  
委員 胡麻田 弘孝  
委員 三谷 健  
委員 亀谷 優子